

平成 29 年度町政懇談会記録(要旨)

開催日 : 平成 29 年 9 月 23 日 (土)

開会 : 午前 10 時 00 分 閉会 : 午前 11 時 03 分

場所 : 笹尾西 3 丁目

参加者 : 男 11 人、女 7 人 計 18 人

町職員 : 町長、副町長、建設部参事、上下水道課長、建設課長、町民課長、政策課員

○懇談

男性 (1) 笹尾東の坂を下ったところで今工事をしてますが、何が建つんですか。

町長 あれはコンビニです。ファミリーマートと聞いています。

男性 (2) 農業の話ですが、人に話を聞くと稲作で人に委託している人が多いと聞いています。先ほど、企業とコラボして色々やるといわれていましたが、野菜とか果樹を作って、商品化して、販売場所を作って、地元の人を買えるものを作るのがいいと思いました。売り込み先をきちんと考えてつくるのが大事だと思います。

建設部参事 ありがとうございます。東員町で今までやってきた農業というのは、土地利用型、水稻を中心とした農業で、非常に儲けが少ない農業経営です。このままでいくと農業自体がつぶれてしまうという危機感があり、やはり付加価値がある農作物を作っていく必要があるという認識をしております。今やっているのは果樹ですが、当然果物、野菜も視野に入れながらやっていこうと考えていますが、路地ものというのは自然の力に勝てないということで、できるだけ施設野菜というものを考えています。

しかし、農業者の方は、これまでそういったものに取り組んだことがないものですから、広めていくにはかなり時間がかかると思います。しかし、とにかく、変えていけないことには東員町の 700ha の農地が死んでしまうことから、このプロジェクトチームで頑張っていきたいと思っています。

そういったなかで、当然売り先というものも、東員町で取れたものを、東員町で買っていただけるような売り場を考えてつくっていきたいと思っています。

女性 (1) 公園の隣に住んでいるものですが、家に硬いボールをぶつけられて網戸が破れたり、石が家に投げ込まれたということがありました。家の方面には公園の遊具がないので、遊具をおいてもらったり、何か構造物を置いてもらえば、家にボールとかがあたらなくなるかなと思うんです。笹尾西小学校の先生にも硬いボールで遊んではいけないと言ってもらったんですが、まだやっている状態がありますのでなんとか考えていただ

きたいと思います。

建設課長 公園の管理につきましては、建設課でさせていただいているのですが、地元の公園ですので地元の皆さんに利用して頂くということで、公園内のルールは自治会さんのほうで決めて頂くというようにさせていただいております。

男性（3） 2月くらいから始まっていて、半年で8万円くらい修理費がかかっていますので、なんとか構造物などで考えていただきたいと思います。

男性（4） これは自治会でやらなければいけない事だと思います。自治会で文書をだして指導するとか。

自治会長 これについては、私1月か2月頃に聞きまして、遊ぶときに気をつけるように指導はしていました。にも関わらずそういうことが続くということで、学校に行かれて先生から注意をしてもらうように言っていたと思います。先生方も公園で遊ぶのではなくて、注意して遊ぶようにと言っていました。その上で、では公園とはどういうものかということを経験課と相談させていただきました。相談させていただいたところ、町としての決めはないということで、自治会役員を含めて相談させていただいて、公園は子どもが自由に遊ぶところなので遊ぶなということはいえないということになりました。それで、遊ぶときは注意しましょうという文書を笹尾西小学校の校長先生と相談しながら作成し、自治会として回覧させていただきました。この問題は、個人が特定できてしまうので、あまり大ごとにせず内々で、少しにぶくなくなってしまうかもしれませんが、これまで対応をすすめていました。

町長 今でもまだ行われているんですか。

女性（1） この前の土曜、日曜日もありました。

男性（4） それならもう自治会として硬いボールは使うなと禁止しないといけない。

自治会長 もう一つ学校と話していることがあって、網をはってはどうかと。たまたま学校に余っている網があって、それをはってはどうかということでお話を本人さんにさせていただきました。周りに引っ越してきた人は、公園が近くになるから引っ越してきたという人が多く、遊ぶなというのはやはり難しい。道路での遊びやキャッチボールは道路交通法違反になってしまうと聞いていますので、やはり公園で遊ぶなというのは自治会として難しい。

女性（1） 学校もそんな遠いわけではないし、学校でももらえないか。公園内で小さい子がい

ると当たって危ないですし、家にも被害が出るようなそんな遊びもして欲しくありません。

町長 硬いボールを使って遊んでいるという子はたくさんいるんですか。特定とかはできないんですか。

女性（１） やっていた子がやめても、小さい子が大きくなってまた別の子達が始めるんです。

町長 さっき話にでてきた網をやっている子や関係者にはってもらえないんですか。遊ぶのはいいけれども他の人に迷惑をかけるのはダメだから、遊ぶんだったら網を設置してねということはいえないのでしょうか。

自治会長 それは明日にでもできると思います。

女性（１） その網というのがそんなに大きくなって横からこられたら困るし、網をはったらここはしていいんだと他の子達がよってきても困るので・・・。

副町長 この話は別の機会を設けていただいて、申し訳ありませんが、この場では一旦きらせていただきます。

男性（三田） 陸上競技場の件なんですけど、維持費がすごくかかっていますよね。できるかどうか分かりませんが、民間企業にまかせることはできないんですか。先日サッカーの試合があったかと思うんですけど、あれでどれくらい収入があるんですか。

町長 大体10万か20万円くらいです。ちょっとお金の話をしますと、陸上競技場のトラックは改修に1億2,000万円くらいかかります。ということで公認の更新はやめました。それから、ちょっと前に平成33年の国体で2、3試合に使うという話があってそれをしようとする、整備に1億2,3,000万円くらいかかるということで県に開催を返上しました。

それから、ネーミングライツ募集したことがあるんですが、応募がありませんでした。そんなことで民間とコラボしようにもなかなか難しいです。

男性（５） 先ほど草取りの話がありましたが、ここに住んでいる住民としては、きちんと綺麗に草取りがされているところを見たことがありません。万助溜公園や山田溜公園は年に3回くらい綺麗になりますが、ここの公園は全く綺麗にならないんですよ。シルバー人材センターに委託してもらっていると思いますが、終わった後の検収はどうなっているかということをお前自治会に聞いたらやってないというようなことを聞きました。

建設課長 シルバー人材センターからは、作業前の写真と作業後の写真を提出していただき、そ

れで検収させていただいております。

男性（５） 実際に住んでいる者としては、綺麗になっていません。写真ではいいところだけ撮って提出しているということもありますよね。昔みたいに自分達でやらないと綺麗にならないね、とそんな話もしています。実際に綺麗になっていません。皆さんそう思いませんか。

男性（三田） いや、シルバー人材センターが来た後はなっているでしょう。

男性（５） この前その木を剪定してもらいましたが、下は全然綺麗になっていませんでしたよ。

男性（三田） 剪定と草取りは別です。

建設課長 色々な方が手分けをしていて、剪定が得意な方、草取りだけをする方、という形で分けて行っていただいています。私どももきちんとする様に注意してみたいと思います。

男性（５） やったら自治会長さんに、いつやりましたと報告してもらえればすぐに確認できますので、そういうことはできないですか。

副町長 地域の方に不信感を持たれているなら、先ほど言われたことを踏まえて、もう少し確認できるようなことを建設課として考えていきたいと思います。

男性（６） 水道の話は聞きましたが、下水道はどうなんでしょうか。

上下水道課長 下水道はまた別です。今回は水道だけですが、下水道も地下に埋設していますので今後下水道も考えていかなければなりません、しばらく先の話になります。

男性（６） もう一つ、農業の話ですが、私三重県のデータを調べましたら、耕地面積は東員町は下から数えて５番目くらい、そんな中で大豆は８番目くらいでした。大豆の耕地面積はそこそこあるのに、収穫量は最低なんですね。それを付加価値をつけて改善しようというそういう話なんですよ。

建設部参事 おっしゃるとおりです。東員町は大豆を150haくらい作っているんですが、収穫量は全国平均と比べても3分の1くらいしかないんです。というのも、今の農家の方々が大豆を真剣に作っていないんです。これは国が減反政策を行い、補助金を出していますが、その補助金をもうらうためにただ蒔いているだけという形態になっています。我々としては、せつかく種を蒔いているのですから、収穫量をあげるということに力を注ぎたい。今後、収穫量を上げるのと同時に高く売る方法を考えて、農業者の方と

話し合いや指導などを行っていきたいと考えています。